子育て支援だより

「子育てワンポイントアドバイス」

第153回　『確かな情報を！』

みえ発達障がい支援システムアドバイザー　竹村　マミ

２歳の子どもをもつお母さんが、「クルクル回る」「じっとしていない」「人との距離感が近い」「つま先で歩く」「同じ行動を繰り返す」「突然テレビを見たことを再現する」「イメージができない」という姿があり、ネットで調べたら全てに発達障害（自閉症やＡＤＨＤ）というワードが出てきたそうです。では、その子どもは発達障害になるのでしょうか。極端な言い方をすると、「空気が読めない赤ちゃんは自閉症」ということになります。２歳であれば、まだ体のイメージがついていないために空間の認識ができず距離感はつかみにくいです。クルクル回るのは自己刺激を入れたいからそんなこともあります。また、イメージは経験をたくさん積むからできていくものです。

ネットを利用することで知識は豊富になりますが、適切な情報を得ないと不安になるだけです。自己判断をして、「発達障害の我が子を子どもの遊び場に連れて行けない」となれば、成長の妨げになりかねません。

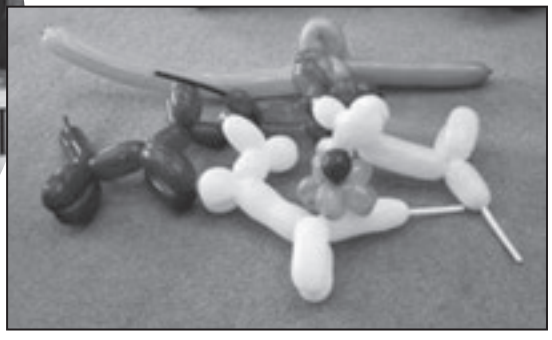
まずは、お子さんと触れ合い、表情豊かに簡単な言葉のやりとりをしてもらうこと、全身をしっかり動かして遊ぶこと、また、子どもとかかわる機会をもつことが、就園前のこの時期の発達にとても大切だと思います。

適切な情報を得るためにも発達が気になる場合は、乳幼児健診がひとつの目安になります。その時に相談をしてみてください。

夏休みあさひプチボラ事業

バルーンアートであそぼう！

８月20日（月）、いなべ市で活動されている「バルーンアートの会」のボランティアの方々に来ていただき、バルーンで、犬・剣・お花など作って遊びました。

「ここをひねって…」
「割れそう！」と大騒ぎしながら
楽しんで作りました。

このあと、男の子は剣をもって戦いごっこ、女の子はお花を腕につけていました。みんな上手にできたね！